

第2回放射線治療あすなろ会 総合学術セミナー 開催結果報告書

- 【団体名称】 放射線治療あすなろ会 代表 みやぎ県南中核病院 渡邊 暁
- 【開催日時】 平成29年8月19日（土）12：00～18：45
- 【会場】 仙台市立病院3階講堂
- 【参加者数】 計202名 （計202名内訳：青森11、秋田20、岩手13、山形9、宮城43、福島20、新潟18、茨城2、埼玉1、メーカー60、講師5）

【プログラム】

- 『変わりゆくがん診療 —放射線治療ができること—』
岩手医科大学放射線腫瘍学科 教授 有賀 久哲 先生
- 『粒子線治療、ここだけの話』
一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北がん陽子線治療センター 加藤 貴弘 先生
- 『放射線治療に必要なCT撮影技術』
宮城県立がんセンター 後藤 光範 先生
- 『法改正と今後の対策—法改正の要点—』
株式会社放射線管理研究所 杉山 和幸 先生
- 『放射線治療におけるPythonの活用』
RTQM システム株式会社 小澤 修一 先生
- 『RTQM システムの現状と計画』
RTQM システム株式会社 小澤 修一 先生

【内容】

臨床講演では放射線治療に求められることに加え、これからの医療環境の変化への対応やチーム医療、患者コミュニケーションの観点で説明いただいた。技術の分野では、陽子線治療に関する優れた物理特性やコスト面を含めた様々な疑問に「一問一答」というQA方式での講義や治療計画に必要なCT画像撮影に関する各種条件の変化に伴う、画像への影響などを中心とした講義が行われた。法律に関する分野では、もと文部科学省の規制室で勤務されていた杉山先生より法改正が施設検査や定期検査にどのように影響するかという点を中心にご説明いただいた。最後に知識面としてプログラミングに関しての講義があり、Pythonを用いて実際に簡単なプログラミングを始める際に必要なインストール方法等を含めての講義があった。最後は企業プレゼンとしてRTQMシステムを用いた将来像を提示していただき、質疑も活発に行われ盛会のうちに会を終了した。

